

高陽町商工会だより

発行：高陽町商工会

会長 大下 秀明
編集責任 広報委員会(委員長 石飛 太士)

平成29年3月30日

本所

広島市安佐北区深川5-21-21
TEL : 842-0186 FAX : 845-0939
E-mail : koyo@hint.or.jp

支所

広島市安佐北区白木町大字秋山2391-4
TEL : 828-0703 FAX : 828-1764

発行

3月15日現在の会員数 1,139名

総務委員会報告

平成二十九年

新年互礼会・新春講演会

開催

平成二十九年一月十九日(木)午後六時より高陽町商工会館二階ホールにて、『平成二十九年新春講演会&新年互礼会』を開催致しました。

今年度は昨年の広島東洋カープのリーグ優勝を受け、今年一年が会員の皆様にとりまして明るい年となり、良い年となります事を祈念し、新春を明るく迎えようとして、広島東洋カープにまつわる『講演会』を企画しました。

今回の「新春講演会&新年互礼会」には、中国新聞社 運動部 広島東洋カープを担当し、二〇一四年からスポーツ面でカープコラム「球炎」を執筆。広島カープをこよなく愛し、そしてカープのことそしてカープ選手のことを誰よりも良く知る、カープバンキシャ、五反田康彦氏をお迎えし、『二〇一七年の広島カープ展望』と題し、講演を頂きました。

キャンブからオープン戦、公式戦にかけてチームに帯同し、日々の話題やチームの状況取材しているバンキシャでなければ知り得ない貴重な情報を聞くことが出来ました。

坂戸透理事による新春講演会開会挨拶に続き、プロ野球取材報道の第一線で活躍中の、広島東洋カープを担当して今年で十五年となる五反田康彦氏により、選手との厚い信頼感がなければ聞き出せない生きた最新のプロ野球情報や、球界裏話を含む誠実な語り口での講演で、予定しておりました一時間があっという間に経過し、大盛況のうちに幕を閉じました。

講演では、五反田康彦氏は、多くの選手・指導者と関わって来た中で、黒田博樹投手を始め、丸選手、新井選手、堂



総務委員会委員長 大前 清治

林選手ら選手一人一人について、その人と成りを語ってもらいました。

「チームの和と結束を一番に考え、チームプレーに徹することが大事なのだ」が黒田投手の考えであり、丸選手は「凡打であってもチームに貢献できることを常に考えている」そして「ヒットを打った後は一瞬嬉しいだけでほっとする。しかしその直後に打てないことの責任感の方が大きい」と話したという。プロの厳しさの一面を表す言葉だと五反田氏は語った。今年、黒田投手の抜けた穴は簡単に埋めることはできないが、黒田投手の残したものは大きく、若手の競争により、決して優勝が困難という事はないと、チームに密着取材して来た記者だからこそお聞きすることが出来た貴重な話でありました。

本日の講演を務めて頂きました五反田康彦氏は、さすがスポーツ記者としてベテランの境地にある記者として十五年のキャリアを感じさせるもので、シャープでプロ野球に関する極めて豊富な知識と選手への取材力を活かした選手一人ひとりの情報しつかりと盛り込んだ講演を大変楽しく、興味深いものにしていただきました。

最後は広島東洋カープの戦力分析と今年何が求められるか、そして期待する選手の話題にも言及し、『二〇一七年の広島カープ展望』と題した講演を締めくくりました。今回、講演会に参加頂いたのは九十八名。講演会は坂戸理事の開会挨拶で終了しました。

引き続き新年互礼会に移り、大下会長の開会挨拶に続き、商工会入会周年表彰が行われ、受賞者を代表して、五十年表彰を受けられた有限会社マリモ写真工芸社 加藤義都氏が代表謝辞を述べられました。

この後、高陽町商工会 増田事務局長の開会挨拶と司会で互礼会が開始となり、今回の講演会に講師としてお招きした五反田康彦氏にも参加頂き、高地副会長の乾杯の発声により、和やかで大変盛り上がった新年互礼会となりました。最後は佐藤副会長の中締めにより、新年互礼会が終了しました。

記事 総務委員長 大前 清治

水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

工業部報告

工業部部长 山本靖則

平成二十八年年度 企業訪問研修会 開催

企業名 株式会社 研創
所在地 安佐北区上深川町四四八
訪問日 平成二十八年十二月二日

去る平成二十八年十二月二日(金)、工業部では参加者十三名で金属製サインとその関連製品の製造販売、板金加工部品の製造販売をされている株式会社研創様への企業訪問を行いました。

当日は二階の会議室にて林社長より歓迎のお言葉を頂いた後、会社紹介のDVDを鑑賞し、世界各地の会社と連携されていること、設計から施工まで自社でされていることを知りました。

その後、二班に分かれ従業員さんの説明を受けながら本社ブース、製造ラインを見学させて頂きました。設計部署でのデザイン、様々な機械での型抜きから製作、そして細かな作業は人の手で行う技術者の技、発送用梱包作業までの工場でのスムーズな施工ラインと多岐にわたるもので、初めて目にするものでした。

研創様のサインができるまでの全ての工程や理念だけでなく、サインの裏にLEDライトを仕込ませ、間接照明のように浮かび上がる商品や、ステンレスで創られた三輪車や遊び心にあふれた小物など、その技術と一



つ一つの製品へのお気持ちを惜しみなく見学させて頂きました。

林社長を始め従業員の皆様にはお忙しいところ、ご対応頂き誠にありがとうございました。この研修で得たことを企業経営に生かしたいと思えます。

記事 工業部 矢舗 遊也

商業部報告

商業部部长 池本年文

『飲食店マップ』発行について

『飲食店グルメマップ』を平成二十九年二月九日(木)に発行しました。高陽・白木地区の住民に地域内の飲食店を知ってもらい、使ってもらい、飲食店の売上アップと地域活性化を目的にスタートし、今回は平成二十七年の発行に続き、第四弾となりました。掲載事業所は五十八件で、A3判の両面カラー印刷で作成しました。

平成二十七年年度に高陽町商工会が経済産業省より認定を受けた『経営発達支援事業』における「伴走型小規模事業者支援推進事業」の一環で作成し、町外への購買流出を食い止め、町内で地元食材を食べてもらいたいといった地産地消の想いも込められています。支援計画通り、地元の高陽・白木地区で生産された野菜や食材を使った飲食店を積極的にPRすることも大きな目的であり、地図上には赤字で印刷されています。新たにイラストも取り入れ親しみやすいマップとして仕上がりました。



二月十二日(日)には高陽・白木地区22、620世帯へ新聞折込みを実施し、住民の方から「とても分かりやすく良かった」、掲載した飲食店の方からは「電話で問い合わせがあり、新規の来店に繋がった」という声を頂きました。

皆さまも積極的にご活用ください。

記事 商業部部长 池本年文

青年部報告

青年部部长 江川卓也

青年部新年会開催

一月二十八日参加者十九名、青年部定例会及び新年会を開催しました。新年会開始前の定例会では、今年度の反省点や、来年度に向けて今年度完成した『こうしろー』の活用方法や、地域住民に對して、部員の事業をもっとPRできないかといった地域振興と自社の発展について話し合いました。

そして、新年会では広島県青年部連合会会長(来年度全国青年部連合会会長候補)の越智俊之氏と青年部芸北地域協議会会長の花木勝徳氏にも参加いただき、これからの青年部の在り方について有意義な意見交換を行うことができました。青年部一同、今後も青年部活動に邁進していきたくと考えています。



記事 青年部部长 江川卓也

水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

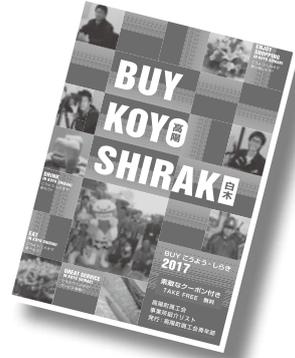
『BUY KOYO SHIRAKI 2017』発行

平成二十九年一月、『BUY KOYO SHIRAKI 2017』を発行しました。

平成二十一年一月から始まった冊子の発行も初回版の発行後、今回で七回目を迎えました。

青年部では、高陽町商工会会員である地域事業者を積極的に

にご利用いただく様にとの思いを込め作成発行し、地元小学校、中学校、高校を始め、金融機関、各種公共施設に配布させていただきました。今後、更に活用しやすい冊子づくりを目指して参ります。ご意見・ご感想等ございましたらお気軽に事務局までご連絡ください。



記事 事務局 田窪 尊

スマートフォン／タブレット講習会

この度青年部では、平成二十九年四月十日(月)十九時より高陽町商工会館二階にて『スマートフォン、タブレット活用セミナー』を開催する事になりました。

スマートフォンやタブレットを持っているけど活用できていない。『クラウド』『ドロップボックス』聞いたことはあるけれど、どんな事ができるの?もっと便利なアプリがあるのは解っていても、導入に踏み込めていない。我々青年部でもそんな人はたくさんいます。



今回は、ドコモショップ緑井店より講師をお招きし、基本機能の紹介から実際にタブレットを触って体験できるセミナーとなっております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記事 青年部 平岡 昭吾

女性部報告

女性部部长 大瀬戸 紫苑子

女性部婚活パーティー

〜セカンドステージを叶えよう〜

平成二十八年十二月四日(日曜日)高陽商工会女性部婚活パーティーを開催しました。

女性部の婚活パーティーも回を重ねるごとに、どのような内容のパーティーが結婚に向かっているか、持ちをもっと頂けるか?女性部として、どのようにサポートができるか?様々な意見の交換・話し合いをし、今回のテーマを結婚経験者の方を優先しながら未婚者の方を対象に開催することにしました。募集に対しての応募者数で男性十二名に対し女性七名と参加者のバランスが揃わず、また当日のキャンセルが発生し、男女比が約二対一での開催となりました。

女性部としては、このバランスの悪さが参加者の方にとって、マイナスにならないようにと、婚活委員が検討して急遽パーティーの内容を、個別トーク中心から、ゲーム性を加えたグループトークに変更しました。「けがの功名」で参加者の皆さん方が、いつものパーティーよりトークは弾んで、楽しんで頂いた様でした。
少人数・男女のバランス



の悪さがありました。カップルも二組誕生し、参加者に喜んで頂きました。

その後のサポートでは、結婚経験者の女性の方には、お子様がいらっしゃる。そのお子様の年齢や人数のこと。男性の参加者の方は、結婚に関して様々な問題があるので、気になる人であっても親御さんの意見もあり、お付き合いを継続する事が難しいのが現状でした。

今どきの独身男女の結婚に対する考えがとて複雑で、四十歳前後から年齢が上になると、特に自分の思いを抑えたり我慢したりしてまで結婚する意味があるのか?恋愛(自分の事をなんでも受けてくれる)≠結婚(恋愛中の継続)という考えが、同じでないと、自分の結婚相手ではないと判断し、こんな人はわたしの結婚する相手ではない。と親や周りの人のアドバイスやサポートに耳を傾けない、そんな参加者が増えている現状を突き付けられています。まずは結婚するために何をどのように考え行動すればよいのかということ等、自分磨きを楽しみながら学ぶ場所の必要性を感じました。勿論、人の人生・一生を左右する婚活パーティーのサポートですから簡単な思い付きでできることではないことを開催する側の私たちも自覚しなければならぬと思います。

これからも女性部として婚活パーティーを開催していく上で、実際に結婚されるカップルを作るにはどのようなことを考え企画していくかが女性部としての課題であると感じました。

記事 女性部婚活委員 坂井 紀予

水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

女性部忘年会に参加して

十二月十九日、今年も、部員四十四名の参加により、女性部の忘年会が開催されました。私も参加しましたが、参加して感じたことをお伝えしたいと思います。

高陽町と白木町の女性部が、合併して早や七年になります。大瀬戸部長のリーダーシップのもと、エネルギーとパワーに吸い込まれて、何の違和感もなく溶け込み現在に至っています。

どの部員さんにも元氣よく、声をかけて下さり、歩調を合わせて下さいます。大瀬戸部長のマジックにかかると、もういっちょ...

女性部にも、共済にも、いつの間にか入っている状態です。

現在、女性部員は一〇七名。人材豊かで、一人ひとり人間的に素晴らしい人達ばかりの女性部です。とかく女性の集まりは、陰口を聞きますが、誰一人、人の悪口をいう人がいません。楽しい人達ばかりです。

今年の忘年会も、いつもの年と同じように、芸達者な部員さんが、カラオケや三味線、詩舞を披露され、宴会を盛り上げて下さいました。

この世は、人脈・情報、努力だと思えます。「楽しくなくちゃ、女性部じゃない」をキャッチフレーズに皆様との出会い交わりを大切にして、今



の自分の仕事に、また一歩一歩前進してプラスになればと思います。女性部に入部して良かったと思って頂けたらとても嬉しいです。

記事 女性部副部長 赤崎公美子

広島県商工会女性部 組織化五十周年記念大会開催

平成二十九年二月七日(火) 広島県商工会女性部 組織化五十周年記念大会が県内三十四商工会の女性部、約四百名の参加によりグランドプリンスホテル 広島に於いて開催されました。

高陽町商工会からも十六名が参加しました。

記念大会は、第一部・第二部・第三部に分かれて午後一時〜七時まで行われました。

第一部は、広島県知事湯崎英彦様による記念講演です。

「仕事も暮らしも、欲張りなライフスタイルの実現に向けて」をテーマに講演を頂きました。

平成二十二年十月に策定された、ひろしま未来チャレンジの趣旨・基本理念のお話で、少しづつではあるが、着実に成果や変化が現れている。県民一人ひとりが、仕事・

暮らしに抱く「希望をかなえられる」社会の実現に向けて一緒に取り組んでいきましょうとご講演されました。

第二部は、ご来賓の方々をお迎えして、記念式典



が開催されました。まず、県内三十四商工会の女性部長がステージに登壇し「女性部の歌」の斉唱、続いて「誓いの言葉」の唱和が行われました。続いて組織化五十周年記念の表彰です。

最初に中国経済産業局・続いて県知事・県商工会連合会会長・県商工会女性部連合会の表彰がありました。

高陽町商工会も十三名が県商工連合会会長表彰・県商工会女性部連合会長の表彰を受賞しました。

第三部は、記念パーティーです。組織化五十周年のお祝いに、県内五つの地域協議会の女性部が趣向を凝らしたアトラクションの披露

です。もちろん、高陽町商工会女性部も他の女性部にならぬ趣向で、しっかり披露をしました。

通称「上品・下品一座」平均年齢六十歳の女性部です。まず、上品の部は、おめでたい席に披露される詩吟に併せて、扇子を用いて舞う詩舞、続いて下品の部は、ひよつとこ踊りです。ひよつとこ面をかぶり、赤ふんどし、おなかを膨らませ、腰をふりふり面白おかしく踊りました。

なんとも顔が見えないということは、大胆になりますよね。会場の皆さんも、ひよつとこ面と踊りを見て大笑いです。高陽町商工会の大会会長もひっぱり手としてステージに上がり一緒に腰ふりです。

退場は、ピコ太郎の音楽です。県女連 井上会長も楽しそうにステージで踊られていました。

「楽しくなくちゃ、女性部じゃない」のモットーを会場いっぱい披露しました。

記事 女性部長 大瀬戸紫苑子

水と緑と風薫る街  MINT CITY KOYO

事務局報告

「白木産葉物野菜生産者と
管内飲食事業者の交流会」を開催

二月二十二日(水)、高陽町商工会二階の講習会室にて、「白木産葉物野菜生産者と管内飲食事業者交流会」を開催しました。この交流会は平成二十七年十一月に認定を受けた「経営発達支援事業」の一環として同商工会が企画したもので、白木産の葉物野菜を管内飲食店で活用してもらい、地産地消に取り組むことを目的に実施されました。交流会には管内の飲食事業者や生産者など十七名が集まりました。

交流会では、広島でご活躍の野菜ソムリエの大西真由美さんを講師に迎え、白木産葉物野菜の効能や活用方法など、野菜ソムリエならではの意見をいただきました。大西さんは、白木町内の二つの農園で栽培された水菜や小松菜、からし菜などの十二種類の野菜の実物を示しながら、風味や食感などの特徴や調理法などを丁寧に説明しました。



事務局長 増田隆文

その後、参加者たちは、大西さんが葉物野菜を使って調理した「赤高菜のガーリック炒め」や「赤茎水菜の酢の物」、「しろ菜のおひたし」、「わさび菜のツナマヨ和え」など、様々なメニューを試食。新鮮な葉物野菜の美味しさに驚きの声を上げていました。また、野菜につけるドレッシングやクリーム作り方など、大西さんに熱心に質問をぶつける参加者の姿も見られました。

この交流会を機に生産者と飲食事業者、相互の交流と活用が進み、ひいては相互の売り上げ拡大につながればと考えています。

記事事務局 熊谷典行

平成二十八年分決算・確定申告について

平成二十八年分分の所得税の確定申告が二月十六日(木)からスタート、三月十五日(水)までの一カ月間、個人事業者の所得税・消費税の決算書及び申告書の作成について支援を行いました。

期間中、多くの会員事業所の皆様にご利用頂き、所得税五三〇件、消費税百十一件について当会を通じて各税務署へ提出しました。

所得税、消費税共に当商工会を通じての取扱件数は増加しております。

記事事務局 山崎祐輔

人事異動に伴う転勤について



山崎祐輔

私事

平成二十九年四月一日付けの定期異動により、古巣三次広域商工会へ転勤することになりました。平成二十五年四月の異動において、ここ高陽町商工会へ赴任し、あつと言う間に四年が経過しました。この間、会員の皆様には、各事業を通して大変ご支援ご協力を頂き感謝申し上げます。

中山間地域の商工会勤務しか経験のなかった私にとって、都市近郊の商工会は、ある意味新鮮でした。四年間当地域において仕事をしてみて、ここ高陽町商工会のエリアは、支援シーズの宝庫であると感じています。

高陽町商工会において、身に着けた知識等は赴任先の三次広域商工会での事業や個社支援に役立てたいと考えております。

四年間ありがとうございました。

高陽町商工会では **会員増強** に取り組んでいます！

◆加入資格

当商工会の地区内（旧高陽町・白木町）において、営業所、事務所、工場又は事業場を有する商工業者の方。

◆加入金及び年会費

加入金 10,000 円
 年会費 個人事業者 11,000 円 法人事業者 13,000 円
 特別会員（種類により会費額が異なります。
 詳細は商工会へお問い合わせ下さい。）
 ※ 尚、加入月については減免制度あり。

お知り合いの方を
 ご紹介ください!!



◆ご紹介方法

お知り合いの方に入会についてお声掛頂き加入申込書にご記入の上、FAX 又は TEL にてご連絡 お願いします。
 （加入申込書は商工会事務局に準備しています。）
 商工会入会メリット、お役に立てる事業案内を準備していますのでご利用下さい。
 （必要時は商工会事務局へお申し付け下さい。）
 ※ 入会については役員会承認後ご本人に承諾書を送付し加入金及び会費を納入された時点で正式加入となります。

高陽町商工会 事務局

♥本 所 安佐北区深川5丁目 21-21 TEL:842-0186 FAX : 845-0939
 ♥白木支所 安佐北区白木町秋山 2391-4 TEL:828-0703 FAX : 828-1764

ご入会ありがとうございます。おかげ様で新しい仲間が増えました!!
 新入会員紹介（入会期間 28年11月25日～29年3月15日）

事業所名	代表者名	地区名	業種
牧野設備	牧野良典	□田東	配管工
香川正孝		落合東	不動産
(有)博永	松尾友美	深川	家具卸売、小売
村上キヌ子		深川	化粧品
吉光健治		三田	太陽光発電、野菜販売
馨風流吟剣詩舞道 馨心支部	金屋俊枝	落合	詩舞教室
宮迫 智		落合	機械修理
中崎急便	中崎博志	深川	貨物運送事業
(有)千客	内藤公博	□田東	飲食業（お好み焼き）

事業所名	代表者名	地区名	業種
森廣鉄筋	森廣好範	深川	鉄筋工
土肥エンジニアリング	土肥 徹	小河原	機械設計
SR 商会	松浦小夜子	地区外	景品交換業
吉本造園	吉本正光	三田	造園・土木
北平裕史		深川	不動産賃貸
SAKAI	酒井 涉	倉掛	内装業
酒井	酒井 玲	上深川	内装
中川産業	中川正徳	□田東	建設・解体業
(株)たなか福祉サービス	田中里江	落合東	居宅介護支援事業
大瀬戸五鈴		□田	不動産業